

おだひろし 大和市議会議員
元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



12月議会

市内にも「危険なバス停」が存在 歩行者安全へ万全対策を

平成30年8月、降車したバスの後ろから道路を横断した小学5年の女子児童が対向車線の自動車にはねられて死亡する痛ましい事故がありました。現場は大和市に隣接する横浜市でした。

神奈川県警の調査結果によると、同じような事故を招きかねない「危険なバス停」は県内14市町に84カ所あるとされます。大和市内でも上草柳の東原バス停が該当してい



ます。昨年の12月議会ではこのバス停の状況について問い質しました。

現地では注意喚起の看板設置や「歩行者注意」の路面標示をする対策がとられました。様々な事情があって、バス停や横断歩道の移設には至らなかったということですが、周辺住民の意見要望をしっかりと汲みながら、安全対策をさらに強化してほしいと要望しました。

一般質問の要旨

【ネット炎上対策】

Q インターネットを使った市の広報の意義は？

A 大和市ではホームページやEメール、アプリケーションソフト、SNSといった多様なメディアを活用し、1人でも多くの方に情報が届くよう努めている。本年は新型コロナウイルスが世界中で猛威を振ったため、感染の予防を目的に様々な分野のICTサービスが急速に普及した。これまで以上にインターネットでの広報が重要手段となるため引き続き注力する。

Q 市のホームページの閲覧状況は？

A トップページの閲覧は平成30年度が8万7000件、令和元年度が10万8000件、令和2年度は上半期だけで17万1000件となっている。

Q 炎上対策は？

A セキュリティーポリシーにのっとった運用を実施するとともに配信に関する内規も定めている。炎上が発生した場合に速やかに対応できるよう報告方法のフローを定めている。

【同性パートナーシップ制度】

Q 制度導入の理由は？

A 市人権指針の基本理念に基づき、当事者が感じる生活上の支障の解消や多様性を認める社会の促進につなげていくために創設する。

Q 「協議開始」と「慎重な検討」をそれぞれ求める市議会の2つの陳情をどう捉えているか？

A 陳情の趣旨に鑑み、これまで他の自治体の動向を注視することを含め、慎重に検討した。

Q 制度導入で得られる便益は何か？

A 県営住宅の入居申し込みが可能になるほか、入院時の病状説明、面会及び手術の同意、携帯電話会社の家族割適用、生命保険の受取人適用への活用が可能となる場合がある。

Q 制度利用により姓は変わるのか？

A 本制度は法的効力を有するものではないため、戸籍や在留資格に影響を与えるものではない。

Q 他市に転出した場合の受領証の効力は？

A 受領証は大和市在住においてのみ有効であり、市外転出の場合は返還していただく。

【道路の安全対策】

Q 危険なバス停の現状は？

A 上草柳の東原バス停1カ所が指定されたことから、速やかにバス停と横断歩道の手前に注意喚起の看板を設置した。令和元年6月に対策会議を開催し、バス停、横断歩道の移設を検討したが、必要な条件を満たすことができず、移設に至らなかった。そこで令和2年1月に「横断者注意」の文字をバス停付近の上下線に各1カ所標示した。今後も県警と連携して、安全対策に努める。

Q 市道光ヶ丘久田線の道路整備状況は？

A 県道丸子中山茅ヶ崎線の拡幅に合わせ県が工事を実施しており、本年度末の完成を目指している。市としても歩行者の安全を確保する。

ストレス時代 求められる寛容の精神

自治体の動画等が炎上するケースが出ています。一般質問では、ウェブ上の特定の対象に批判が殺到し、収まりがつかなくなる「ネット炎上」の対策も取り上げました。

平成29年、観光客誘致を目指す宮城県がタレントの壇蜜さんを起用した動画広告が卑猥(ひわい)などとして批判が集中しました。鹿児島県志布志(しぶし)市でも平成28年、ふるさと納税を呼びかけるためのCMに批判が集まり公開中止となりました。新型コロナウイルス感染症の関係では昨年、静岡県議がマスクをネットオークションに出品して炎上しました。

ネット炎上で自殺者も

コロナ禍でネット炎上が増えています。デジタル・クライシス総合研究所によると、昨年4月の炎上件数は246件で前年同期の3.4倍となりました。

昨年5月、女子プロレスラーの木村花さんが自殺した痛ま

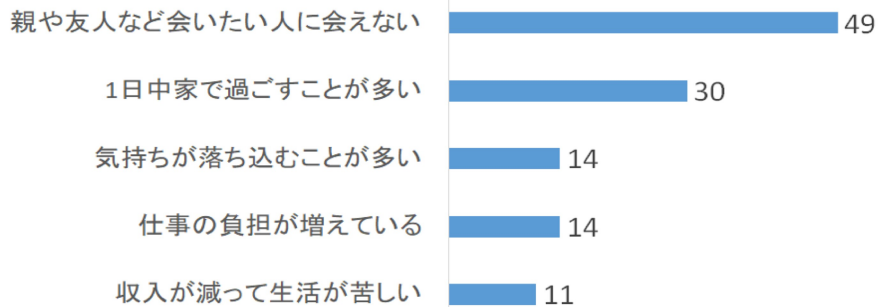
しい事件がありました。出演した恋愛リアリティー番組内の言動をめぐりSNS上で誹謗中傷が相次いだことが原因とみられています。

大和市のホームページの閲覧数が大幅に増えています。新型コロナウイルスの市内の状況や対策への関心が高まった影響とみられます。最初に関くトップページは、昨年度は10万8000件でしたが、今年度は上半期だけで17万1000件に上っています。なんと前年度の3倍のペースです。

NHKの世論調査(昨年11月4日~12月7日)によると、コロナ禍でストレスが増えたとする回答は計67%に上っています。ストレス過多になれば人は攻撃的になりがちです。炎上が増えれば、自治体も対策強化を余儀なくされます。

実際の対人関係でもトラブルが増加する懸念があります。「自粛警察」という新語が定着しましたが、正義感が歪んでしまえば社会はギスギスします。こんな時代だからこそ、寛容の精神が求められます。

新型コロナ 生活への具体的な影響



数値は%。複数回答あり。NHK世論調査(昨年11月4日~12月7日)より抜粋

Topics

「新春の集い」は開催見送り

新型コロナウイルス感染症の問題が長引いていることを受け、市議会議員として例年1、2月に開催してきた「新春の集

い」は今回、見送りとさせていただきます。楽しみにされた方には誠に恐れ入りますが、会食を伴う大人数での会合を実施するのが難しいためです。ご理解いただければと存じます。

冬は例年、忘年会や新年会が相次ぐシーズンですが、この冬は忘年会1件に参加するにとどまりました。昨春以降、地域行事や市のイベントもめっきりなくなってしまいました。「元の日常」に戻

れる日が早く訪れることを願い、市議会では社会経済を回すことの重要性を訴えています。低温で乾燥しがちな冬が過ぎれば、感染症もある程度落ち着くのではないかと期待しています。

◆プロフィール

大和市議会議員(2期目)
昭和50年1月5日生まれ
大和市出身/福田在住

西鶴間小学校、南林間中学校
中央大学附属高校、上智大学経済学部卒

◆産経新聞記者(16年間)当時の職歴
整理部→千葉総局→社会部→政治部

◆特技・資格 居合道3段、防災士

【3月議会】

大和市議会の令和3年3月第1回定例会は2月25日から3月23日まで27日間の日程で開催されます。一般質問は3月16、17、18日の予定です。本会議はインターネットでも傍聴できます。

◆市議としての役職(令和2年5月~)

環境建設常任委員会委員長
基地対策特別委員会委員
相模原二ツ塚線及び水産座間線建設促進協議会委員

◆その他の主な活動

自民党大和市連合支部
政調会長、広報局長
自民党神奈川県連
市町村議員協議会幹事
大和中央シティライオンズクラブ
隊友会、金毘羅神社神輿会



HPIはこちらから↓

